

第 53 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 3 年 8 月 17 日（火）午後 6 時 45 分から午後 7 時 00 分まで
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、山下副知事、古川副知事、鈴木副知事、企画理事兼商工労働観光部長、危機管理監、知事室長、職員長、総務部長、文化スポーツ部長、健康福祉部長、京都府議会事務局長、教育長、警察本部長、山城広域振興局長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局副局長、丹後広域振興局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

4 議事録

【危機管理監】

- ・京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催します。
- ・本日は、現在開催されています政府の対策本部の審議事項等を踏まえ、今後の対応について協議いただくこととしています。
- ・それでは西脇知事に会議の進行をお願いします。

【知 事】

- ・まずは、この間、昼夜を分かたず、御奮闘いただいております医療従事者の皆様に、感謝を申し上げます。特に、ここにきて感染が急拡大し、医療現場に大きな負荷がかかっています。非常に厳しい状況にあると認識しています。
- ・また、府民、事業者の皆様にも、4 月以降、長期にわたって、外出・往来の自粛、飲食店における時短要請等、大きな御負担をおかけしています。皆様の御協力にも、心から感謝を申し上げたいと思います。
- ・しかし、デルタ株の感染力は非常に強く、感染は急拡大を続けています。8 月 13 日には、過去最多の 450 人の新規感染者を確認しました。本日も 420 人で、7 日間の移動平均が 385.14 人、前週比も 1.48 倍と、拡大が続いています。感染拡大により、病床の使用率は、一般病床で 70%を超え、高度重症病床も 5 割を超えています。
- ・今、政府対策本部で、京都府を緊急事態措置の区域とすることについて、議論がされていると認識しています。先ほど開催した専門家会議の御意見も踏まえ、今後の対応について、御議論をお願いしたいと思います。
- ・まずは、最近の感染状況等について、健康福祉部長から御報告をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 1 に基づき報告

【知 事】

- ・続きまして、京都府の緊急事態措置案について、危機管理監から御説明をよろしくお願いします。

【危機管理監】

※資料 2 に基づき説明

【知 事】

- ・続きまして、医療提供体制の拡充について、健康福祉部長から御説明をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 3 に基づき説明

【知 事】

- ・ここまでの説明について、専門家会議の松井議長から御助言をよろしくお願いします。

【専門家会議議長】

- ・感染の拡大は、残念ながら、収まる気配がありません。それに対応するために、さらに病床を確保し、宿泊療養、自宅療養が安全にできるための取組を行っていますが、対応を上回るスピードで感染が拡大しています。
- ・医療現場が現在、災害級の事態に直面していると受け止めています。コロナのために、病床や人材を含めた医療資源を使うほど、通常の医療が縮小してしまいます。この状態が続くと、まもなく脳卒中、心筋梗塞、がんや熱中症等、すぐに治療を受けなければならない人が医療を受けられない状況になります。病気はコロナだけではありません。
- ・医療を守るために、今、しっかりとした対策が必要です。これまでも府民の皆様の御協力で、感染の波を乗り越えてきました。間違いなく結果は出ます。その実績があります。
- ・マスク、手洗いに加えて、人と会う予定や出かける予定が今日でなくてもいい場合は、ぜひ予定を延期していただきますようお願いしたいと思います。府民の皆様の御理解と御協力が必要です。どうぞよろしくお願いします。以上です。

【知 事】

- ・先ほどの専門家会議でも、災害級の危機に直面しているというお話がありました。松井議長の話も含め、最大限の努力をしていく必要があると思っています。
- ・次に、京都市の三科危機管理監から、御意見をよろしくお願いします。

【京都市危機管理監】

- ・直近 1 週間における新規感染者数が平均で 200 人を超え、まさに感染爆発の状況であると認識しています。
- ・8 月 20 日から、新たに緊急事態措置を実施していきます。これまでは、夜の対策に目が行きがちでしたが、日中も含めた人流の抑制、接触機会の低減を積極的に図っていく必要があると思っています。

・感染者を減らしていかなければなりません。京都市もこの後、対策本部会議を開き、広範な公共施設について、利用を抑制する方向での議論を行い、決定していきたいと思っています。また地下鉄、市バス等の繰り上げについても議論し、徹底していきたいと思っています。

・医療提供体制の強化が行われることは、心強く思っていますが、自宅療養者が1日100人以上増加している状況です。

・本日から、府の医師会、薬剤師会と連携し、京都市の電話診療所を開設して、運用しています。自宅療養者のリスクを把握し、適切な医療へと繋げていくことが大事だと思っています。

・後がない状況になっています。措置の取組、保健医療の取組について、これまで以上に緊密に連携を図って取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。以上です。

【知 事】

・医療資源に限られる一方で、自宅療養者が非常に増えています。対応は非常に大変ですが、できる限り効率的にしないと回らないところもあります。今までの前例にとらわれない取組が必要だと思っています。

・その他に御意見等がなければ、この事務局案によって、京都府の緊急事態措置を決定したいと思います。

・その他に、各部局から御報告がなければ、本日の会議の総括を申し上げたいと思います。

・感染力の強いデルタ株への置き換えりが72%と急速に進み、感染の拡大は止まる気配がありません。これが全国で起こっている状況です。非常に強い危機感を持っています。

・この中で、医療現場が災害級の危機に直面している現状があります。まずは、今日決定した措置を確実に実行していくことになります。府民の皆様への呼びかけについては、後ほど私からさせていただきますが、関係部局においては、次の2点について、特に万全の体制で対応していただきたいと思います。

・1点目は、緊急事態措置は、特に飲食店に対して、新たに負荷をかける部分があります。大規模商業施設についても、新しい措置が入り、大きな負担をおかけします。確実に実行していただくために、できる限り丁寧に説明し、関係の皆様への御理解を得たうえで、要請をしていただきたいと思っています。

・2点目は、医療現場の負荷が大きくなっています。医療関係者の皆様の御理解、御協力を得て、できる限りの医療提供体制の充実を図っています。引き続き、努力をお願いしたいと思います。

・ただし、根本は感染者を減らすことにあります。それを並行して進め、医療体制、併せて宿泊療養施設、自宅療養の方の健康管理についても、万全の体制をとっていただきたいと思います。

・災害級とは、新たな事態がいつ、どのように進展していくか分からないことも意味しています。今後、引き続き、緊張感を持って、事態の推移に併せて柔軟に対応していただきたいと思います。以上です。

【危機管理監】

・関係の部局長におかれては、先ほどの指示事項を踏まえ、万全の取組をお願いします。

・松井議長、三科危機管理監におかれては、お忙しいところ、御出席をいただきまして、誠にありが

とうございました。

- ・以上をもって、対策本部会議を終了します。